



古澤 巖
ヴァイオリン



福田 悠一郎
ヴァイオリン

品川カルテット

チャイコフスキー、モーツァルト、マリーノ作品 他



TAIRIK
ヴィオラ



高木 慶太
チェロ

1日2回公演 2020年8月6日(木) 昼の部14:00開演(13:30開場) 夜の部18:45開演(18:15開場)

[指定席] 各部 一般5,500円 ハーフ60 3,300円 各回共に同一プログラム

チケットのお求めは
7月12日(日)
10時より販売開始
発売初日はお電話受付のみ

宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718

「ハーフ60」のチケットは、宗次ホールチケットセンターのみで取扱いとなります。
「ハーフ60」=後半のみの当日券。事前予約受付不可。

- チケットぴあ TEL:0570 (02) 9999
- 名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755

くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。 ※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

古澤 巖 Iwao Furusawa, Violin

古澤巖は7年程前からベルリンフィルメンバーとイタリアの作曲家ロベルト・ディ・マリーノの新曲を中心に弦楽6重奏の公演を続けている。また90年代は海外のトッププレーヤーとピアノ四重奏団「タイフーン」を結成、ルクー、ショーソンの印象派及びシューマン、ブラームス等を年間50公演ずつ10年間経験を重ねる。78年～87年ヴェーグ・カルテットのヴェーグに桐朋学園大学及びザルツブルクで師事。82年夏タングルウッドで、ベルグの協奏曲を進呈されたルイ・クラズナーにピアノ四重奏を学ぶ。カーチス音楽院ではバーンスタイン、チェリビダッケの公演の為に20回のリハーサルや、講義を体験。そして葉加瀬太郎とのジブシーバンドを86年に立ち上げ、2006年HATSレーベルに移籍し本格的にバンド演奏を開始。バンドとクラシック。それまでの「古典クラシック」楽曲の「謎」が、何故かバンド演奏の研究から、次々と紐解かれ、繋がりははじめる。その昔、クライバーの神がかりや、ヨーヨーマとのリハーサルで体験した夢の様な「音楽の謎」。そしてTAIRIKとの出会いから誕生した「品川カルテット」(J:COM系TVで3年目放送中)。マリーノには、カルテットの為に新曲を依頼、タンゴとクラシックの融合、ピアノからモリコーネの世界感。古典様式に隠されたモーツァルトの謎解き、何故かラテンの血が騒ぐチャイコフスキーの情熱…。最新アルバム「Violon d'amour」に新たに2曲マリーノのカルテットも収録。宗次コレクションより演奏を許された1718年製ストラディヴァリウス「サン・ロレンツォ」は、この度クレモナの博物館より帰国。指板と駒をリフレッシュし、最強の響きをお届けする。



TAIRIKプロデュース「品川カルテット」

福田 悠一郎

Yuichiro Fukuda, Violin

福岡県生まれ。桐朋学園音楽部門に特待生として在学し、首席で卒業。卒業時に皇居・桃華楽堂に於ける御前演奏会に出演。第4回洗足学園ジュニア音楽コンクール小学校の部第1位。第13回日本クラシック音楽コンクール中学校の部全国大会第1位。第59回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会、全国大会第1位。併せて東儀賞、兎東賞、都築学園音楽賞、毎日中学新聞賞を受賞。第21回ABC新人コンサート・オーディション第1位。第9回いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞を受賞。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、山形交響楽団、仙台フィルハーモニーなどと共演。軽井沢国際音楽祭、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭などに出演し、別府アルゲリッチ音楽祭ではコンサートマスターを務めた。

これまでに原田幸一郎、ジェラルド・ブーレ、小林すぎ野の各氏に師事し、現在、ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学に在学し、クリストフ・ヴェグジン氏の元で研鑽を積む。

TAIRIK

Viola

2008年KENNTA(ヴァイオリン)、SUGURU(ピアノ)と聴衆にエネルギーを与えるユニット「TSUKEMEN」を結成。2010年3月にキングレコードより発売のアルバム『BASARA』にてメジャーデビュー。現在までアルバム9枚リリース。2018年4月10周年記念アルバム「X」(テン)をリリース、このアルバムを含むオリジナル・アルバム7作がクラシックチャートの1位を獲得している。デビューから500本を超える公演を開催し、現在までにのべ40万人の観客を動員。LIVEは日本国内だけでなく、ニューヨーク・韓国、ドイツ、ロサンゼルスで敢行。2015年オーストリアのコンサートは国内外から注目を集め、「ウィーン楽友協会 黄金の間大ホール」初のクロスオーバーとしてキャンセル待ち200席を記録し大盛況を収めた。これまでに2018年映画「ゼニガタ」の主題歌&挿入歌を担当。「題名のない音楽会」、「徹子の部屋」、「僕らの音楽」などに出演。ライブではヴァイオリンとヴィオラを両方持ち替えて奏でる。

近年では古澤巖氏と「品川カルテット」並びに東京交響楽団のコンサートマスターの水谷晃氏と「MIZUTANI×TAIRIK」を結成、コンサート、TV出演、CDを発売など幅広く活動。2018年9月長野にてヴァイオリニスト開催。URL <https://www.tsukemen3.jp>

高木 慶太

Keita Takagi, Cello

北海道生まれ。6才よりチェロを始める。桐朋女子高等学校音楽科(共学)及び桐朋学園大学卒業。同大学院大学を経て2007年春ロームミュージックファンデーションの奨学金を得てベルリン芸術大学に留学。第74回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位入賞。2001年いしかわミュージックアカデミーにてIMA賞受賞。第1回旭川・ウィーン国際弦楽セミナーにて優秀賞を受賞。ドイツ、ベルリンで開催されたドミニコ・ガブリエリチェロコンクールにて3位入賞。第106回日演連新人演奏会において札幌交響楽団と、大学院大学在学中に桐朋オーケストラ・アカデミーと共演。室内楽においては、(財)地域創造アウトリーチ活動の他、クアルテット・エクスプローチェ、クアルテット・ヒムヌス、品川カルテット、東京チェロアンサンブルのメンバーとして定期的に演奏会を行う。

ドイツより帰国後、北海道、東京のコンサートホールでチェロリサイタルを開催。チェロを上原与四郎氏、毛利伯郎氏、岩崎洗氏、マルクス・ニコシュ氏に師事。読売日本交響楽団チェロ奏者。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

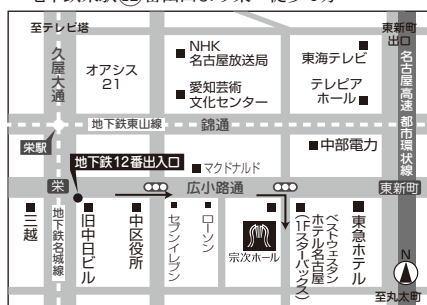
来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整理では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。詳しくは、ホームページwww.munetsughall.comをご覧ください。

交通アクセス 地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業